

各位

会社名 シークス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 柳瀬 晃治
 (コード番号 7613 : 東証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員総務部長兼東京総務部長 丸山 徹
 (TEL 06-6266-6413)

シンガポール政府技術庁とのワイヤレスアラートアラームシステム (Wireless AAS) に関する案件成約について (設計、設置、運用、管理、および保守)

シークスシンガポールは、シンガポール政府技術庁 (以下、GovTech) から、住宅開発庁 (以下、HDB) が運営する高齢者世帯向け賃貸アパート数千戸へのワイヤレスアラートアラームシステム (Wireless AAS) に関する契約を獲得いたしました。シークスシンガポールは開発パートナーである iWOW Technology 社と共同で、プッシュボタンと音声録音機能を備えた LoRaWAN® ネットワークとワイヤレスアラートデバイス (Wireless AD) および LTE (4G) SIM カードを使用した Wireless AAS に関する案件を成約いたしました。

このプロジェクトは GovTech が、HDB と協力して、従来、電気配線設置に時間がかかっていた有線システムを今回の新システムに置き換えることでその問題を解消し、ワイヤレス通信や録音機能も追加する事を主な目的としています。

Wireless AAS は、デジタル・イノベーションによって公共サービスの提供を改善し、市民の生活を向上させるというシンガポール政府の「スマート・ネーション」構想の一環であります。

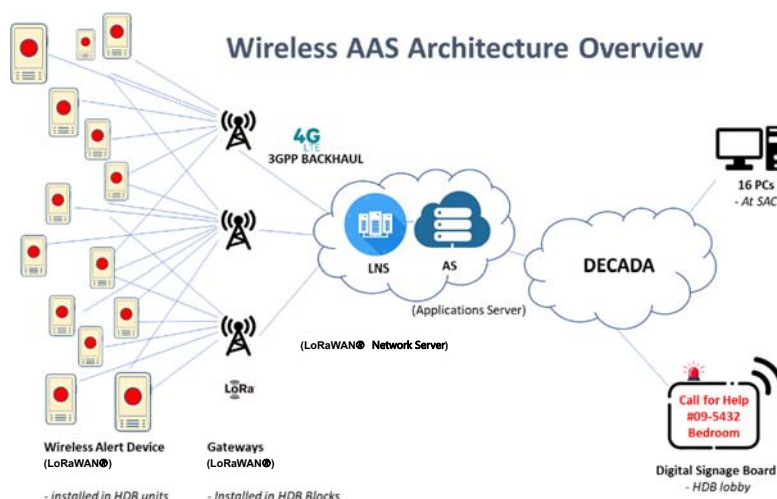


▲ワイヤレスアラートボタン

居住者 (通常は高齢者) が転倒したりした場合の緊急時には、居住者は赤い「ヘルプ」ボタンを押して、助けを求めるメッセージを録音することが可能となり、その後、必要に応じてコールセンターまたはシニアアクティビティセンターのスタッフと会話をすることができます。居住スペースの広さに応じて、トイレや寝室、リビングなど一戸あたり2つまたは3つのアラートデバイスが設置されます。居住者がアラートデバイスの「ヘルプ」ボタンを押すと、LoRaWAN®ゲートウェイを介して、賃貸アパートの共用スペースにある2シニアアクティビティセンター (以下、SAC) のコンピューターとリンクしている GovTech の「DECADA」というシステムに信号とデータが送信されます。SACのスタッフや24時間体制のコールセンターがアラートで緊急性を感知することで、昼夜を問わず即座に助けに向かうことも可能になります。同時に、アラートはアパートのエレベーターロビーのデジタルサイネージボード (当社が提供および設置) によって

同時に受信され、サイレンの点灯と救助要請者の位置特定を特定するディスプレイが表示されます。デジタルサイネージボードのサイレンは、エレベーターロビーにいる他の居住者に緊急事態を警告するためのものです。これら3つの方法により、緊急時にできるだけ早く居住者を救助することが可能となります。

ワイヤレスアラートアラームシステム



▼デジタルサイネージボード



▼モニタリングセンター

